

祇園囃子 (1953)

メディア 映画

ジャンル ドラマ

製作国 日本

色彩 B&W

時間 85分

初公開日 1953/08/12

公開情報 大映

【解説】

日本が世界に誇る映画監督・溝口健二が京都の花街・祇園を舞台に芸妓とそれを取り巻く人々の生態を細部まで徹底的に描き出した人間ドラマの傑作。祇園ではちょっと名の知れた芸妓・美代春の許に、母を亡くしたばかりの少女・栄子が舞妓志願にやってきた。栄子の熱意に負けた美代春は、彼女を引き受けることに。やがて、1年間の舞妓修行を経て、初めて店に出た栄子。ほどなく大会社の御曹司・楠田に見初められる。一方、美代春も楠田の取引先である神崎から言い寄られるのだったが……。

導入部こそ、エキゾティシズムを意識したような視線で描かれるが、そこから先は溝口監督の鋭い人間洞察力が遺憾なく発揮される。若尾文子の愛くるしさも目を見張るが、したたさを内に秘めた木暮実千代の色香と浪花千栄子の貫禄がなんとも印象的。

【クレジット】

監督 溝口健二

企画 辻久一

原作 川口松太郎

脚本 依田義賢

撮影 宮川一夫

美術 小池一美

衣裳 黒沢好子

編集 宮田味津三

音楽 斎藤一郎

助監督 弘津三男

出演 木暮実千代 美代春

若尾文子 栄子

河津清三郎 楠田

進藤英太郎 沢本

菅井一郎 佐伯

田中春男 小川

小柴幹治 神崎

浪花千栄子 お君

石原須磨男 幸吉

志賀迺家弁慶 助次郎

伊達三郎 今西

毛利菊枝 女紅場の教師

柳恵美子 かなめ

小松みどり	お梅
小林加奈枝	髪結
大美輝子	八重
橘公子	菊春
小柳圭子	芸妓
前田和子	女中
種井信子	舞妓
三田登喜子	舞妓
上田徳子	舞妓
不二輝子	小女
久松京子	小女
岩田正	富坂
牧龍介	崎谷